

新まちづくり計画（H16～18）追加補強事業総括調書 （単位：千円）

予 算 事 業 名		冬の公園利用活性化事業費	
担 当		環境局みどりの推進部みどりの管理課 岡崎 211-2536	
基 本 目 標		3	世界に誇れる環境の街さっぽろ
重 点 戦 略 課 題		3	北国らしいゆたかな暮らしの実現
施 策		1	北国らしい暮らしの創造
関 連 新 ま ち 計 画 事 業 名			
		予算額	決算額
事 業 費		2,000	1,483
財 源 内 訳	国・道支出金		
	市 債		
	そ の 他		
	一 般 財 源	2,000	1,483
事業実施(拡充)の背景・目的・考え方		事業内容(量・場所・規模等)	
現在、多くの公園については「雪の搬入」がなされ、また、行政内部からも「雪たい積スペース」としての活用が模索されている現状である。しかし、一方で市民団体によるイベントも開催されている。この機会に冬の公園でのイベントの開催状況や活動事例の情報収集・発信を行い、市民の関心を高めるとともに、市民団体の活動をより活性化させるような支援を行い、冬の屋外生活が積極的に行われるような施策を展開していく。		<18年度> ○ 市民団体との共催により、旭山記念公園で「旭山冬のフェスティバル」を開催した。フェスティバルの内容は、スノーシューを使用した自然観察会、イグルー作り、スノーキャンドル等を実施した。 ○ 冬の公園利用における実態調査を5箇所の街区公園で実施した。	
評 価 (成 果)		課 題	
市民団体との共催によるイベントを開催し(参加者100名)、冬季間の公園利用への関心を高め、各地域における冬季公園利用のきっかけが作られた。		ゆたかな北国の暮らしを実現するために、子ども達の冬の遊びや高齢者の健康づくりなど、イベントや活動事例の情報を幅広く収集し、効果的に市民に情報提供する必要がある。	
19 年 度 以 降 の 方 向 性 ・ 事 業 の 予 定			
当面は、各区土木センター等を通じて、冬季間に実施されている雪中運動会やスノーキャンドル等市民が企画するイベントの情報を収集し、ホームページで情報を発信するとともに、市民団体等にイベントの開催を働きかけ、その活動を側面的に支援する。			